



沼澤道也 議員

交流人口拡大の方向性・場の設定・人材育成の考え方は

沼澤道也議員 5月25日に放送されたテレビ番組は、人口減少や高齢化へのヒントが多くあった番組だった。地元にあるものを大切に育てながら町外との関係を拡大していくことが大切だったが、金山での交流人口拡大策の考え方はどうなのか。

町長 私も見えて、地元にあるものを掘り起こして作り変えていくことの重要性和金山校で実施されている「みらい留学」のヒントもある。

ったと思っている。質問の件については、グリーンバレー神室一帯を中心とした方向性として、地域おこし協力隊の増員も実施している。同時に金山まつりを中心とする街中イベントも進め、100周年と一体的に開催していきたいと考えている。今後は、今まで以上に民間サイドとの連携を強化しての人材育成を図っていきたい。

沼澤議員 神室一帯で活性化は大賛成だが、今まで以上に「体験型振興」を図る必要があると考えるが、どんな体制と取り組みとして

交流人口拡大の具体策は

回答 グリーンバレー神室を拠点としたい

いるのか。

産業課長 今年度はスキー場、キャンプ場、ホテル、温泉とそれぞれ

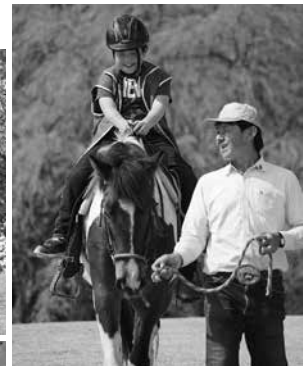
れ指定管理者が決定されたので、各管理者での月一回程度の打ち合わせ会を行い、神室一

帯での振興を目標に協議を実施している。周辺では乗馬、サップ、釣り堀、ブルーベリー園、もちろんキャンプ、ホテル、温泉など多様な体験の場があるので、「体験型」の拡大を含め検討していきたい。

ラーメンの町、金山を

沼澤議員 グリーンバレーとともに、街中の活性化が大切で、町めぐりともう一つの切り口として「ラーメンの町」に取り組んでみてはと思う。最上郡内でこれほどのラーメン店は金山だけ、それぞれに個性があつておいしい。ここを切り口に他の店に広げ「食の金山」へ進めていく工夫も

乗馬、サップなど体験型振興を



どう活かす高規格道路

回答 意見、要望を踏まえ検討

旧中央公民館跡地整備計画は

須藤典夫議員 2期目の町長就任にあたり「新たな一歩」元気に着実に」をモットーに6つの取り組みを公約に掲げている。

当面の課題対応として「高規格道路延伸を契機とした交流人口の拡大」を挙げているが、具体的にはどういう事業を考えているのか。

町長 交流人口拡大策として取り組む旧中央公民館跡地整備計画の地域振興施設については、様々な意見、要望もいただいている。例

えば1階には、町のインフォメーション、男女多目的トイレ、地元産品の直売等が可能な販売スペース、産直イベントやキッチンカーなども使用できる給電・給水設備等、また施設管理のための事務

スペース、待合所やフリーのワーキングスペースなどで利用可能なスペースを想定しており、2階に会議等多目的利用ができるスペース、そして災害時などには一時避難が、可能なスペースの確保、

そういった機能も考えている。

須藤議員 インターチェンジ付近に道の駅を考えてもよいのではないか。

町長 まず中央公民館跡地だと24時間は難しいだろうと考えている。インターチェンジ付近という想定になるが最低限の施設だけに止まらず、プラス商業施設的なものを合わせたもの、というイメージをどうしても持つてしま

うため、末永くやっていく運営体制を見いだすのはなかなか難しいと思っている。

通年議会制への移行協議は

須藤議員 「議会活性化・DX推進特別委員会」では町制施行100周年を機に議会改革の一環として会期を1年間とする「通年議会」への移行を検討し

ている。

町側との協議のすり合わせが必要なことから、協議開始についての町長の意向を伺いたい。

町長 議会改革の一環として、移行を検討しているということで、「議会活性化・DX推進特別委員会」の場で、議会と町側が意見交換等を行うということについては、問題はない。全国的な状況や課題、今後の可能性など、双方が共有しておくことは、有益なことだと考えている。



須藤典夫 議員



工事が進む高規格道路